

## 伊東市議会平成 27 年 6 月議会の本会議場におけるマンダリンホテル跡地購入に係る討論・採決の議事録

■年月日 平成 27 年 6 月 30 日(月) \*平成 27 年 6 月定例会

■議 題 平成 27 年度伊東市土地取得特別会計補正予算(第 1 号)

■討論をした議員 杉本一彦議員(反対) 重岡秀子議員(反対) 浜田修一郎議員(賛成)

### 討論

(杉本一彦君)

市議第 6 号 平成 27 年度伊東市土地取得特別会計補正予算(第 1 号)に反対の立場で討論させていただきます。

本定例会におきまして、生涯学習施設建設用地購入費として上程されたこの補正予算案ではありますが、聞くところによると、音無町の中央図書館の移設場所、新図書館の建設用地ということであります。私もかつては伊東市議会有志で構成される文化力向上議連の一員として、この古く手狭になった中央図書館について、早急にも議論を始め、新図書館建設に向け、検討を始めるべきという要望をしまりました。また、平成 24 年 12 月定例会本会議一般質問におきましても、市当局に対し、新図書館建設についての訴えもさせていただきました。

いずれも、この時点における市長の答弁、考えは、将来的には新図書館の建設が必要になることは理解するが、現時点においては考えていないといった旨の答弁であったと記憶しております。2 年半前の考え方であります。それから時間が経過する中、市民ニーズの把握等を図る中で考え方が変化していく、そのことについて異を唱えるつもりはありません。しかし、今回計上された 2 億 1,000 万円の土地購入代金もそうですし、これから、この事業は、将来の伊東市の財政面から見ても大変大きな事業計画となってまいります。であるからこそ、もう少しこの場所の選定等については時間をかけるべきではないかと思えます。

現実には、将来のための市民の図書館についての話であります。宇佐美地区から対島地区まで、子供から高齢者まで幅広く市民に利用しやすい場所を選びたいじゃありませんか。そう考えたとき、果たしてこの場所が適地と言えるでしょうか。また、津波についての対策はどうするのでしょうか。かつて、この議場におきまして、現在の図書館では、貴重な書物の津波による被害が心配であるといった旨の議論もありました。その意見に対する答えはどうなんでしょうか。

伊東市は将来に向け、これからもさらに人口減少と高齢化が進んでまいります。そんな中で、どのようなまちづくりをするか。その中で公共施設の配置をどのように考えていくか。また、伊東市の未来を担う子供たちの子育て、教育施設がどのように変化するのか。すなわち、幼保の一元化をどのように進めていくか。小・中学校の統廃合がどのように考えられているか。また、現在、市内でも活用方針の決まらない市有地も複数あります。それらはどのように活用していくのか。少なくとも激変する今の時代において、将来に向け、引き継いでいく施設等については、引き継がれる者たちとの対話は必要でありますし、また、それが重要であります。

新図書館建設の方向性には賛同できますが、今回のこの建設場所の選定の経過を聞く中では、まだまだ議論が不十分であるということと、現段階における私の考える将来の伊東のまちづくり像からは、新図書館の建設場所としては適地ではないという結論から、このたび上程された市議第6号 平成27年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）に反対し、討論とさせていただきます。

**(重岡秀子君)**

私は、市議第6号 平成27年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）に反対する立場から討論いたします。

この補正予算の対象となっている土地はマンダリン岡本ホテル跡地ですが、先日、解体工事中の現場周辺を見て回りました。約4,030㎡、生涯学習センター中央会館の敷地の約1.9倍というこの土地は、市の公有地として公共施設を建てるとなれば、現在の図書館やひぐらし会館などよりもずっと広大な施設の建設が可能となる土地であると思いました。しかし、この場所のこの広さの土地を生かせるものはどのような施設なのか、大綱質疑や総務委員会の質疑からは、必ずしも図書館に限らないということで、具体的な見通し、計画がはっきりしていない、ほとんど白紙状態といってもいいことがわかってまいりました。告示の時点で、地元新聞は、図書館のある生涯学習センター中央会館が老朽化しているが、現在地での建てかえは経費がかかるため、移転先として購入するという目的を報道しました。この計画に期待した市民も少なからずいたのではないのでしょうか。議会からも、図書館部分が狭く図書を十分置けない、閲覧室も狭い、駐車場も不十分、松川沿いで津波などによる浸水が心配といった意見も出されていました。

したがって、図書館の建設には異議はありませんが、これから新たに図書館のある会館を建設するのに、同じような松川近くで海拔10m未満の津波避難地域を選ぶことはいかがなものでしょうか。また、築35年といっても、今後も長く使用が可能な中央会館であります。起債償還中の10年間をめぐりに建設したいという答弁もありましたので、新施設に図書館機能は移転したとして、中央会館の生涯学習センターの機能は残ります。図書館を中心とした施設となれば、当然、視聴覚室、会議室なども併設されることになり、近隣には、ひぐらし会館やふれあいセンターもありますので、同地区に同じような用途で使用できる施設を建設することに問題はないでしょうか。

伊豆フィルハーモニーが旭小を練習会場として借りているように、今後、西小や東小の児童数の減少により余裕教室がふえるようであれば、市民のサークル活動など生涯学習関係の活動に学校を利用できる状況も出てくると考えられます。

現在、当面の問題として、中央会館やひぐらし会館も駐車場が狭く、近隣に有料駐車場もないことから、保健福祉センターにつくられる予定の立体駐車場で十分なのかと心配する声もあります。いっそのこと、現在建設計画が進む保健福祉センターをこの土地に移動することは考えられないのか。社会福祉協議会も入る施設であり、ファミリーサポートや乳幼児健診などの子育て支援、高齢者支援やボランティアの拠点として、これから伊東市にとって活用範囲の広い、利用価値の多い施設と考えます。とにかく、とりあえず図書館などの生涯学習関係施設というような建設計画には疑問を感じます。

また、限られた財源なので、公共施設の建設には優先順位を十分検討した計画が必要ではないのでしょうか。私としては、大きな施設として優先すべきものは、観光会館の建て直しと、雨天でも使用できるスポーツ施設ではないかと考えています。スポーツ施設は総合体育館の基金もでき、検討が始まっているとも聞いていますが、天候が悪いと遊ぶところがない、大室山のリフトが動かないような天候のときは、急遽観光バスが東海館に回る例もあるという伊東の現状です。観光客も使える温水プールなどを併設した施設はどうしても必要でしょう。

また、老朽化を問題にするのなら、昭和41年に建設された観光会館であり、もっと音響のよいホールを要望する声も多く聞きます。これも莫大な予算が必要ですが、最近も、広く市民に寄附を呼びかけても建設すべきという御意見をいただきました。そして、中規模、小規模な施設としては、これか

らの少子化対策として重要である保育施設です。幼稚園、保育園の中にも老朽化や耐震性も指摘されている施設があることから、統合も含めて施設建設の計画が必要ではないでしょうか。

しかし、これらの施設建設がこの土地の購入に際して浮上してこないのは、広さや場所が適さないということでしょう。総務委員会では、市街地でこのような広い土地は今後得がたい土地と判断したと説明がありましたが、バブル期のように土地が今後高騰することも、買って置かなければ広い土地は手に入らないという時代ではないのではないのでしょうか。

こうしたことを考えると、今回、起債して購入するこの2億1,000万円の土地が、いつ効果的に活用されるのか、明確な使途や計画が余りにも漠然とした土地購入は不要不急の予算になりかねないと考えます。

以上の点から、市議第6号 平成27年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）に反対し、討論を終わります。

**(浜田修一郎君)**

ただいま議題となっております市議第6号平成27年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）に関し、正風改革クラブを代表し、賛成の立場で討論を行います。

昭和55年に建設された生涯学習センター中央会館は、1、2階部分が図書館を併設し、長く市民の教養と文化の発展に寄与してきたところです。平成25年の利用を見ても中央会館部分の利用者数は、回数で4,424回、人数で4万4,967人。また、図書館では18万2,653冊の蔵書があり、貸出冊数では年間21万3,346冊と、市民にとって文化の中心としての役割を果たしてきたことは言うまでもありません。しかしながら、市民からは、駐車場が狭い、蔵書の冊数が少ない、子供たちが勉強したくても机がすぐにいっぱいになってしまうなど、さまざまな市民要望もあることは事実でございます。

函南町では町制50周年を記念して、函南町立図書館と子育てふれあい地域交流センターを併設した複合施設、かなみ知恵の和館をオープン。このコンセプトは、「子どもからお年寄りまでが気軽に集い、世代を超えたさまざまな人たちの、『ふれあい』、『支えあい』、『学びあい』、『分かちあい』の交流の場となる」ことだそうです。

本議題となっておりますマンダリンホテルの跡地は4,000㎡を超える一団の土地で、近隣にはひぐらし会館、現在建設予定の新保健福祉施設があり、将来的にこの土地の利用が本市の芸術、文化、福祉の中心となるよう願うところです。

我が会派の議員から提案されました観光会館の建てかえや市民プールの建設などは、幅広い意見を伺いながら計画を進めるとの当局の説明もありました。ぜひ本市の第十次基本計画、総合戦略策定の中で十分な土地利用、計画をお願いし、賛成討論といたします。（拍手）

\*採決の結果、賛成多数で可決。